



2023年2月28日

各位

会 社 名 琉球アスティダスポーツクラブ株式会社
(コード番号 7364 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役会長 早川 周作
問 い 合 せ 先 取締役管理部長 平田 史隆
(TEL 098-851-8701)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年12月期における連結業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期 連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	一株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (2021年12月)	474	△191	△135	△134	△94円41銭
当期実績値 (B) (2022年12月)	500	△213	△212	△265	△177円10銭
増減額 (B - A)	25	△22	△77	△131	
増減率 (%)	5.3	-	-	-	

2. 差異の理由

売上高は前期比で25百万円(5.3%)増加し、500百万円となりました。

スポーツ関連事業におきましては、スポンサー数が増加し、トークンの発行やアスティダフェスの開催により、新たな収益源を作ることができましたが、当連結会計年度から適用された「収益認識に関する会計基準」適用の影響もあり、売上高は21百万円(7.4%)減少しました。

飲食事業におきましては直営店が4店舗、フランチャイズ店が2店舗減少し、店舗数は直営店が6店舗、フランチャイズ店が3店舗となりました。屋外でのマスク着用や会食における人数制限の緩和など飲食業界における経済活動は徐々に、回復傾向にある中、売上高は44百万円(23.7%)増加しました。

営業損失は、前期比で22百万円増加し、213百万円となりました。これは、飲食事業における一部不採算店舗における営業赤字の計上によるものです。

経常損失は、前期比で77百万円増加し、212百万円となりました。これは、営業損失の増加と、前期に計上した給付金が当期は発生しなかったことによります。

親会社株主に帰属する当期純損失は前期比で131百万円増加し、265百万円となりました。これは経常損失の増加に加え、飲食事業における一部店舗の撤退に伴う損失や、のれんを含む固定資産の減損損失を計上したことによります。

以上